

数学科 2年

評価計画

知識・技能：①

思考・判断・表現：②

主体的に学習に取り組む態度：③とする

| 指導単元 | 観点 | 単元の評価規準 学習評価表 | 具体的評価目標 おおむね満足 B | 評価方法 場面 |
|-----------------------------------|-------------|--|---|---|
| 1章 文字を使って説明しよう 【式の計算】 | ① ② ③ | <p>① ・単項式と多項式の意味を理解しており、四則演算をすることができる</p> <p>・文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて式を変形できる。</p> <p>② ・既習事項の計算方法と関連付けて、2つの文字を含む多項式の四則演算を説明できる。</p> <p>・数の性質が成り立つことを、根拠を明確にし文字を用いて説明することが出来る。</p> <p>・問題の条件を変えて統合的、発展的に考え、根拠を明確にして説明できる。</p> <p>③ ・既習事項の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。</p> <p>・多項式の計算をすることの必要性や意義を考えようとしている。</p> <p>・文字を用いた式を活用した説明の過程を生活や学習に活かそうとしている。</p> | <p>① 基本的な計算をすることができる。</p> <p>基本となる数量を文字を用いて表すことができる。</p> <p>② 証明における根拠や過程を考えることができる。</p> <p>③ 計算をすることの必要性や意義を考え、学びへ向かうため自分なりに行動している。</p> | <p>定期テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>小テスト</p> <p>授業振り返りプリント</p> <p>発表提出物</p> <p>テスト直し</p> <p>学習ドリルソフト</p> |
| 2章 方程式を利用して問題を解決しよう 【連立方程式】 | ① ② ③ | <p>①・2元1次方程式と解の意味を理解している</p> <p>・連立方程式の解き方を理解し、解くことが出来る。</p> <p>・連立方程式とその解の意味を理解している。</p> <p>・具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。</p> <p>・連立2元1次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。</p> <p>②・2元1次の連立方程式では、1つの文字を消去し解を求める考えの根拠を説明できる。</p> <p>・いろいろな連立方程式を既習事項の内容に変形して解く方法を考え説明できる。</p> <p>・連立2元1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。</p> <p>・求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に即して考え、人に説明することができる</p> <p>③・連立2元1次の必要性と意味を考えようとしている。</p> | <p>① ・基本の問題について連立方程式を用い解を出すことができる。</p> <p>・解の意味を理解している。</p> <p>② ・いろいろな連立方程式について複雑な問題の解を求めることが出来る。</p> <p>・連立方程式の考えを用い様々な問題を考えることが出来る。</p> <p>③ ・連立方程式の必要性や意義を自分なりに理解するために行動している。</p> | <p>定期テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>小テスト</p> <p>授業振り返りプリント</p> <p>発表提出物</p> <p>テスト直し</p> <p>学習ドリルソフト</p> |

| | | | | |
|--|----------------------|--|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・連立2元1次方程式を具体的な問題解決に利用しようとしている。 ・自分なりに、連立方程式を学ぶ意義、活用法を考えようとしている。 | | |
| <p>3章 関数を利用して問題を解決しよう 【1次関数】</p> | <p>① ② ③</p> | <p>① ・1次関数の意味を理解し、$y = ax + b$の式に表すことができる。</p> <p>② ・具体的な事象において、1次関数の変化の割合が何を意味しているか読み取ることが出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる ・いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 <p>③ ・具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、特徴を表やグラフを用い説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の値の変化やグラフの特徴を見だし、説明できる。 ・1次関数の表、式、グラフを相互関連付けて考え説明できる。 ・連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、解をグラフを書いて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式で求める方法を説明できる。 <p>③ ・1次関数の必要性と意味を考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の式を求める条件や求める方法を考えようとしている。 ・1次関数の値の変化の特徴をとらえたり、比例の式や、2元1次方程式との関連性を考えようとしている。 | <p>① ・1次関数として捉えられるものがあることを知っている。</p> <p>② ・1次関数について、表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。</p> <p>③ ・1次関数について学んだことを生活や学習に活かすため行動している。</p> | <p>定期テスト 単元テスト 小テスト 授業振り返りプリント 発表 提出物 テスト直し 学習ドリルソフト</p> |
| <p>4章 図形の性質の調べ方を考えよう 【平行と合同】</p> | <p>① ② ③</p> | <p>① ・多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。</p> <p>② ・平行線や角の性質を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 <p>③ ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認、説明することができる。</p> <p>③ ・証明の必要性と意味及び証明の方法を考</p> | <p>① ・基本的な性質を用い問題を解決できる。</p> <p>② ・平面図形の性質を用い、平面図形の性質が正しいことを調べることができる。</p> <p>③ ・人に説明する場において、根拠を基に説明する技法を習得できるよう行動して</p> | <p>定期テスト 単元テスト 小テスト 授業振り返りプリント 発表 提出物 テスト直</p> |

| | | | | |
|----|-------------|---|--|--|
| | | えようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返り検討している。 | いる。 | し 学習ドリルソフト |
| 5章 | ① ② ③ | ①・証明の必要性と意味及び方法について理解している。 ② ③ <ul style="list-style-type: none"> ・定義やことがらの過程と結論、逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。 ① <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。 | ① <ul style="list-style-type: none"> ・説明の必要性を理解しており、図形の基本的な性質を示すことができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・論理的に図形の性質を説明することができる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・証明の必要性及び意義を理解し、習得するための行動をしている。 | 定期テスト 単元テスト 小テスト 授業振り返りプリント 発表 提出物 テスト直し 学習ドリルソフト |
| 6章 | ① ② ③ | ① <ul style="list-style-type: none"> ・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確立の必要性と意味及び確率の求め方を理解している。 ・起こりうる確率を樹形図や表を用い求めることができる。 ・排反事象の根拠を理解し、確率を求めることができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・同様に確からしいことの意味を理解し、場合の数を基にして得られる確率の考え、説明することができる。 ・身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 ・同様に確からしいことに着目し、起こりうる場合を求める方法を説明できる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・不確定な事象の起こりやすさについて学 | ① <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な確率を表や樹形図を用い求める事ができる。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討している。 | 定期テスト 単元テスト 小テスト 授業振り返りプリント 発表 提出物 テスト直し 学習ドリルソフト |

| | | | | |
|----|----------------------------|--|---|---|
| | | <p>んだことを生活や学習にいかそうとしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 | | |
| 7章 | <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> | <p>① ・箱ひげ図と四分位範囲、ヒストグラムの必要性を理解している。</p> <p>② ・箱ひげ図とヒストグラムの対応を理解している。</p> <p>・箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解し、データを処理して表すことが出来る。</p> <p>③ ・ヒストグラムから、データの分布の傾向を比較し読み取り、説明することが出来る。</p> <p>・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータ分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</p> <p>④ ・既習のデータの整理や分布の方法を、問題解決にいかそうとしている。</p> <p>・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。</p> | <p>① ・データ分析の必要性を理解している</p> <p>② ・データから必要な情報を読み取り、推定判断できる</p> <p>③ ・データの分布について学んだことを生活や学習に活かすため行動している。</p> | <p>定期テスト</p> <p>単元テスト</p> <p>小テスト</p> <p>授業振り返りプリント</p> <p>発表</p> <p>提出物</p> <p>テスト直し</p> <p>学習ドリルソフト</p> |